

高石市教育委員会定例会会議録

(令和5年10月定例会)

開会及び閉会の年月日時

開 会	令和5年10月11日 午後3時00分
閉 会	令和5年10月11日 午後3時35分

会議に出席した者の職及び氏名

委 員	教 育 長 : 山 本 圭 作 委 員 : 佐 野 慶 子 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一 委 員 : 西 村 朋 恵
事務局職員	教 育 部 長 : 村 田 佳 一 教育部次長兼 社会教育課長兼公民館長 : 佐 藤 信 雄 教 育 部 次 長 : 松 田 訓 一 教 育 総 務 課 長 : 綾 井 康 浩 学 校 教 育 課 長 : 山 崎 陽 子 教 育 総 務 課 長 代 理 : 水 谷 亘 社会教育課長代理 兼青少年対策班長 兼たかいし市民文化会館長 : 道 井 里 沙 学 校 教 育 課 長 代 理 : 杉 原 敦 史 教 育 研 究 セ ン タ ー 所 長 : 阪 口 敏 基

議題及び議事の要旨及び議決事項

・ 議案第1号 令和5年度全国学力・学習状況調査結果公表について

学校教育課長	<p>議案第1号「令和5年度全国学力・学習状況調査結果公表について」説明します。</p> <p>本議案は、今年4月に実施しました全国学力・学習状況調査についての本市小・中学校の調査結果の公表について、承認いただくものです。</p> <p>「学力調査の結果概要」として、本市小・中学校における各教科の学力に関する分析の部分と「質問紙調査の結果概要」として、質問紙調査の分析からの学習状況に関する部分、また、その両方の分析から見てきた課題とそれに対する高石市教育委員会及び学校の取組み等について公表するものです。</p> <p>学力調査は、小学校6年生では、国語・算数、中学校3年生では、国語・数学・英語が実施されました。</p> <p>質問紙調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する内容についての質問が出されました。</p> <p>結果概要については、課長代理より説明します。</p>
--------	--

<p>学校教育課長代理</p>	<p>令和5年度全国学力・学習状況調査の結果概要について説明します。</p> <p>別冊資料「令和5年度全国学力・学習状況調査」は、令和5年4月18日に市内公立小中学校の小学校6年生と中学校3年生で実施した調査の結果を高石市全体で集約し、まとめたものです。</p> <p>1ページの学力調査の結果概要ですが、今年度の調査教科は、小学校では、国語・算数、中学校では、国語・数学・英語の調査がありました。中段やや下の方の「平均正答率からわかる本市小・中学校別結果の概要について」は、小学校では、国語が大阪府と同等、算数は大阪府、全国平均を上回る結果となっています。中学校は、数学が大阪府と同等、それ以外は大阪府、全国平均を下回る結果となっています。</p> <p>それでは、校種、教科ごとにもう少し詳しく説明します。</p> <p>2ページには小学校の学力調査の結果を示しています。上段には、各教科の平均正答率と無解答率の表を記載しています。左から高石市、大阪府、全国の結果、高石市と府の結果と比べた差を「対府差」、全国の結果と比べた差を「対国差」として、プラスマイナスの表記で示しています。</p> <p>2段目には、各教科における対全国比の経年比較を折れ線で表したグラフを記載しています。平成28年から平成30年度までは、A区分とB区分を別々に表記していますが、平成31年度以降は、この区分がなくなったため、1本の折れ線で示しています。</p> <p>3段目の右側の表は、各教科の領域別平均正答率を示したもので、一番左に各領域を記載しており、「市」の欄は高石市の平均正答率、「府」、「国」の欄はそれぞれの平均正答率、「府比」、「国比」の欄には、領域ごとの大阪府及び全国の平均正答率を100%としたときの高石市の平均正答率の割合を示したものとなっています。</p> <p>小学校の各教科の状況について説明します。</p> <p>国語については、平均正答率が全国より1.2ポイント下回っており、領域では、特に「書くこと」に課題が見られました。対全国比の経年比較は、上降傾向がみられ、令和5年度の結果は98.2%で、一昨年度と比較しますと3.7ポイント程度上降が見られます。</p> <p>算数については、平均正答率が全国を1.5ポイント上回っており、領域では、「図形」の領域に改善が見られました。対全国比の経年比較は、上降傾向が見られ、令和5年度の結果は102.4%で、昨年度と比較しますと5.9ポイント程度上降しました。</p> <p>続いて、3ページには中学校の学力調査の結果を示しています。</p> <p>国語については、平均正答率が全国より3.8%下回っており、領域では、「書くこと」に課題が見られます。対全国比の経年比較は、平成31年度より上降傾向となっており、令和5年度の結果は94.6%で、一昨年度の結果より、1.8ポイント程度上回る結果となっています。</p> <p>数学については、平均正答率が全国より1.0%下回っており、領域では、「データの活用」に改善が見られましたが、「数と式」については、課題が見られました。令和5年度の結果は98.0%で、昨年度の結果より、6.6ポイント程度上回る結果となっています。</p> <p>英語については、平均正答率が全国より3.6%下回っており、領域では、特に「書くこと」に課題が見られました。令和5年度の結果は92.1%で、前回の平成31年度の結果より、2.7ポイント程度下回る結果となっています。</p>
-----------------	--

小・中学校ともに、各教科の問題の中で、特に課題のあった問題を12ページから16ページに取り上げています。それぞれの問題において、どのような力が求められているのか、そこから、本市の児童生徒がどのような課題がみられるのかを考察しています。

続いて、4ページの「質問紙調査の結果概要」ですが、今年度の調査でも、教科に関する調査と同様に学校生活や授業、生活習慣等に関する質問紙調査が実施されました。このページでは、高石市の子どもたちの学習状況、生活習慣の特徴や課題が見えるところを抜き出し、まとめています。

①「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の小学校の数値と⑫「各教科などで学んだことをいかしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」の中学校の数値が伸びています。また、小・中学校ともに③「自分にはよいところがある」と④「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つ」と⑩「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる」の数値が伸びています。⑤「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」は、小学校は伸びましたが、中学校では結果に課題が見られました。引き続き、「いじめは絶対に許されない」という意識が向上するような取組みを進めてまいります。

また、⑦「家庭学習の時間が30分以下」と⑧「計画を立てて勉強している」が減少し、引き続き家庭との連携を図りながら啓発を行う必要があります。

続いて、5ページの「調査結果から」は、「教科に関する調査、質問紙調査」全体をまとめて分析・考察したものです。

学力面では、主に「文章に表れているものの見方や考え方を捉える力（読み取る力）、自分の考えを持ち、表現する力（書く力）」に、生活面では、「家庭学習の時間」「読書をする時間」が短いという課題が見られました。「家庭学習の時間が3時間以上（月～金）」と回答した人の割合が小・中学校ともに全国平均を上回っています。しかし、「家庭学習の時間が30分以下（月～金）」と回答した人の割合が小・中学校ともに全国平均を上回っています。

「家庭学習」「情報モラル教育」の課題について、家庭への協力のお願いと、10ページ・11ページに家庭での過ごし方等参考にしてもらえる資料及びワークシートを掲載しました。

次に、6ページの「教育委員会による学校への指導助言事項」においては、各校が、このページの①～⑤に記載している取組みを推進していけるよう指導主事が重点的に指導助言を行ってまいります。

7ページ・8ページの「学校での取組み」においては、今年度の調査結果を受けて、各小中学校が自校の結果を分析しています。5ページの「調査結果から」にまとめた課題、「学力向上の取組み」をもとに各校が重点的に取り組むことについて、記載しています。各校、それぞれの課題に正対し、課題解決に向けた具体的な取組みについて、全教職員が徹底して取り組んでいくことを記載しています。

続いて、9ページの「家庭・地域にご協力いただきたいこと」において、質問紙調査の結果より、「家庭での時間の使い方」に課題があることから家庭における「家庭学習の充実」「スマートフォン等の使い方改善」「読書機会の設定」を図るため、各家庭への啓発内容、協力いただきたいことについて記載しています。

10ページには家庭学習を行うヒントとなるポイント等についてまとめたリーフレット「家庭での過ごし方について」、大阪府教育委員

	<p>会から配信されている学習教材の掲載となっています。また、児童生徒に1人1台に配布されたタブレット端末に入っている「ドリルパーク」等の紹介としています。</p> <p>11ページには、教育委員会から配付しております「家庭でのタブレット端末の使い方」「ケータイ・スマホの使い方」のリーフレットを掲載し、紹介しています。</p> <p>今後も学力向上に関する方策だけでなく、子どもたちの『生きる力』の育成をめざして各家庭にも協力をいただきながら、教育委員会としても取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>以上、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果概要についての説明を終わります。</p>
吉村文一委員	高石市の学習課題は、どのように捉えていますか。
学校教育課長	書く力については、以前より学力課題として捉え、力を入れてきました。近年は、読解力について、課題がみられるので、令和4年度より読解力のワークシートに取り組み、全体の底上げにつなげています。
佐野慶子委員	読書の啓発は、どうなっていますか。
学校教育課長	コロナ禍であった令和4年度までは、朝の学習の時間に検温、消毒等を行っていましたが、コロナ禍が明け、多くの学校で朝の学習の時間を読書の時間にあてて取り組んでいます。
西村陽子委員	家庭への啓発については、どのように行っていますか。
教育部次長	各校とも学校だよりはこの調査結果及び分析を掲載し、各家庭へ読書活動や家庭学習の協力をもとめています。
吉村文一委員	朝食をとる大切さ等食育の取り組みはどうですか。
教育部次長	朝食をとる大切さ等については、小学校入学時にパンフレットを配布したり、学校だよりで食育の取組を掲載する等を行い、各家庭へも協力を呼びかけています。
採決	可決

・議案第2号 高石市立高師浜総合運動施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

次長兼 社会教育課長	<p>議案第2号「高石市立高師浜総合運動施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」説明します。</p> <p>本議案は、高師浜総合運動施設に新たに3x3バスケットボール場を設置するにあたり、当該施設の使用に係る諸手続について規定するものです。</p> <p>なお、施行期日は、高石市立高師浜総合運動施設条例の一部を改正する条例の施行の日からとしています。</p>
採決	可決

・報告第1号 教育委員会の後援等に関する報告について

教育総務課長	本報告は、高石市教育委員会の後援等に関する規程第2条第1項の規定に基づき処理したものについて、同条第2項の規定により、13ページ記載の学校教育課1件、社会教育課7件の計8件の報告をするものです。
山本教育長	報告があったものとして処理します。

・報告第2号 教育委員会関係諸行事等の報告について

各所属長	令和5年9月27日から令和5年10月10日までの当委員会関係諸行事について説明。
山本教育長	報告があったものとして処理します。